

景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

3 調査期間

平成27年8月3日(月)~17日(月)

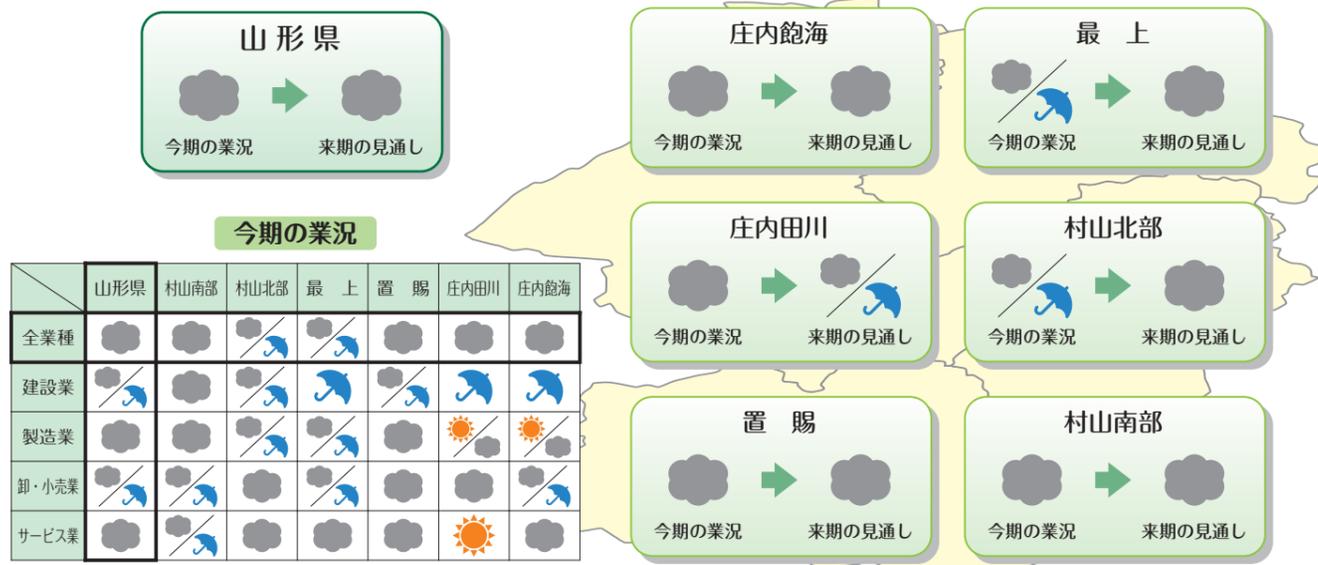
4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形711社、秋田647社
有効回答数 山形435社、秋田423社
回答率 山形61.2%、秋田65.4%

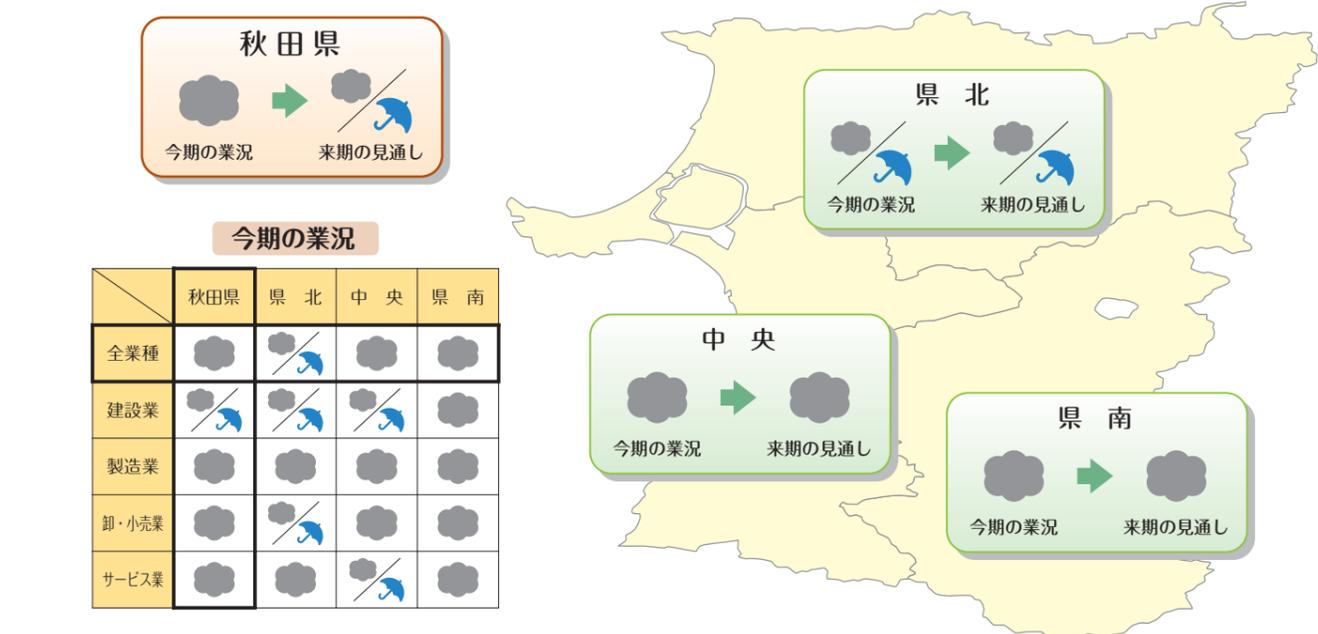
特に好調 DI \geq 30	好調 30>DI \geq 10	まあまあ 10>DI \geq 10	不振 Δ 10>DI \geq 30	きわめて不振 Δ 30>DI

▶ 景気天気図

第44回「山形県内企業の景気動向調査」



第17回「秋田県内企業の景気動向調査」

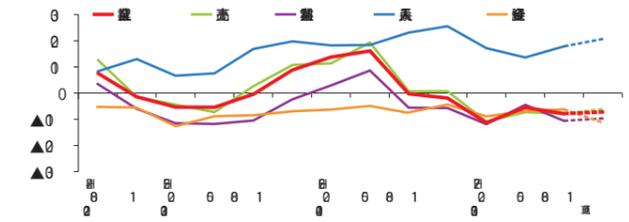


▶ 自社業況の動向

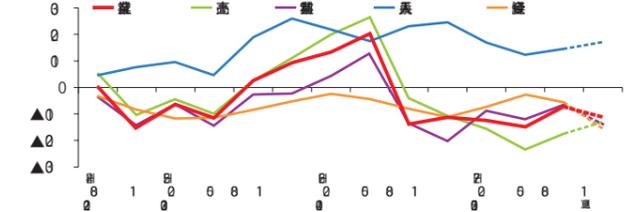
山形県の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲7.9(前回調査比2.4ポイント下落)と若干悪化した。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「売上高」「営業利益」が悪化となった。中でも「営業利益」の悪化幅が大きい。また、「人員・人手」は3期ぶりに上昇し、再び人手不足感が強まっている。

秋田県の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲7.1(前回調査比7.9ポイント上昇)と3期ぶりに改善した。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「売上高」がDI値はマイナスながら5期ぶりに改善したほか、「営業利益」「人員・人手」も改善となった。

図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

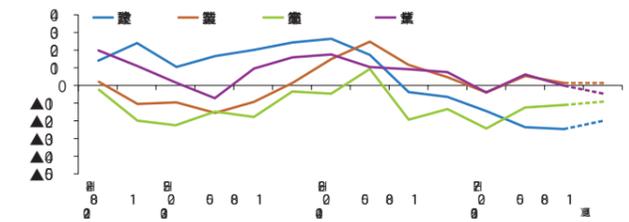


▶ 業種別の動向

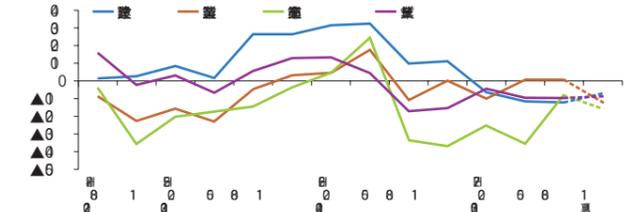
山形県の業況(前年同期比)を業種別にみると、卸・小売業が改善したものの、建設業、製造業、サービス業の3業種で悪化となった。要因として、公共工事の減少や原材料費の高騰、消費の低迷などが考えられる。

秋田県の業況(前年同期比)を業種別にみると、卸・小売業が▲7.9(前回調査比27.6ポイント上昇)と大幅に改善した。この背景としては、消費税増税の影響のはく落に伴う売り上げの改善などが挙げられる。一方、製造業と建設業、サービス業はほぼ横ばいの動きながら、小幅な悪化となった。

図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

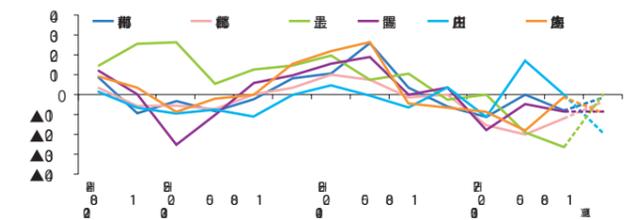


▶ 地域別の動向

山形県の業況(前年同期比)を地域別にみると、村山北部、庄内飽海で改善したものの、村山南部、最上、置賜、庄内田川で悪化した。

秋田県の業況(前年同期比)を地域別にみると、県北が悪化した一方、中央、県南はともに改善となった。

図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

